【図表1】 合意した生産量および調整量*1*

（1,000バレル／日）

	加盟国	参考生産量	調整量	生産目標量	減産率
1	アルジェリア	1,089	-50	1,039	-4.6%
2	アンゴラ	1,751	-78	1,673	-4.5%
3	エクアドル	548	-26	522	-4.7%
4	ガボン	202	-9	193	-4.5%
5	インドネシア *2*	722	加盟一時停止	設定なし	-
6	イラン	3,975	90	3,797	-4.5%
7	イラク	4,561	-210	4,351	-4.6%
8	クウェート	2,838	-131	2,707	-4.6%
9	リビア	528	対象外	設定なし	-
10	ナイジェリア	1628	対象外	設定なし	-
11	カタール	648	-30	618	-4.6%
12	サウジアラビア	10,544	-486	10,058	-4.6%
13	UAE	3,013	-139	2,874	-4.6%
14	ベネズエラ	2,067	-95	1,972	-4.6%
合計（14カ国）		33,643	-1,164	32,500	-3.4%

1 参考生産量は2016年10月（アンゴラのみ2016年9月）の第三者機関による発表値

出所：OPEC ※斜体部分は筆者追記

2 インドネシアはOPEC加盟を一時停止（suspend）

減産率は参考生産量に対する生産目標量の減産幅。インドネシア、リビア、ナイジェリア、14カ国合計の参考生産量は2016年10月の第三者機関による発表値。

イランの参考生産量＋調整量が生産目標量にならないのは、参考生産量に第三者機関ではなくイランの主張する生産量に配慮した数字を適用しているためと推測される。